

今後へ発展を助言

新日本コンサルタント会長
市森 武氏(66)
小矢部市埴生
測量設計会社を昭和54年に創業し、総合コンサルタントへ育った。平成20年3月まで県測量設計業協会会長。「今後も業界発展へ助言したい」

黄 綬

牛乳質高く安く

元県乳牛協会会長
角田 龍男氏(65)
高岡市西藤平蔵
高校卒業後、酪農を始めた。質の高い牛乳を安く作ろうと、牛の健康管理に力を注いできた。「支えてくれた家族に感謝したい」

秋の褒章

喜びの県内受章者

秋の褒章が2日付で発表され、県内から9人が受章した。黄綬褒章が5人、藍綬褒章が4人。受章者は歩んできた日々を振り返り、喜びをかみしめた。

藍 綬

調停委員

小栗 康子さん(69)

公平・中立な職務

北陸税理士会副会長
窪野 耕生氏(63)
富山市永久町
税理士となって35年目。国と納税者、どちらからも公平、中立な職務を心掛けてきた。「受章は支えてくれたみなさんのおかげ」と喜ぶ。

黄 綬

伝統工芸を支える

鳥田象嵌工房代表
鳥田 稔弘氏(68)
高岡市富田町
30年ほど前に象嵌師となり、現在は日本伝統工芸士会副会長を務めている。「これまで支えてくれた妻や仲間感謝したい」

市民の健康手助け

藤岡鍼灸院自営
藤岡 勝美氏(67)
黒部市三日市
盲学校卒業後、昭和43年春に鍼灸院を開業、市民の健康維持に尽力してきた。市視覚障害者協会会長も務める。「今まで以上に技術を磨きたい」

工業統計調査員

柳原よし子さん(64)

日本の黄金期をけん引
北日本新聞 平成21年11月2日(月)掲載



塚原光男さん

棒の「月面宙返り」や跳馬のカハラ跳びを編み出し、体ツポンの黄金期をけん引し3度の五輪で獲得した金メダ五つ。輝かしい経歴に新たな章が加わり「人ができないに挑戦した結果」と感慨に浸

導者としても2004年アテ輪団体総合優勝メンバーの長也さんを育て、日本初の五輪タリスト親子に。直也さんが前に紫綬褒章を受章した際、事のように喜んだ61歳は「中年で体操に出会い、素晴らしい出がっばいある」。先の世界選手権で千恵子夫人が手塩にかけた鶴見虹子選手が日本女子43年ぶりのメダルに輝いたのも、その一つだ。日本体操協会副会長。理事を務める日本オリンピック委員会(JOC)ではロンドン五輪対策プロジェクトの委員長として多忙な日々を送る。「体操の経験を生かし、日本のスポーツ振興にできる限り貢献したい」。座右の銘「果てしなき挑戦」は終わらない。

宮崎作品 欠かせぬ存在

作曲家・久石譲さん



クラシックの世界で活動しているが、1984年に「風の谷のナウシカ」にかわり「千と千尋の神隠し」「崖の上のポニョ」など宮崎アニメ9作で音楽を担当。「HANA-BI」「おくりびと」など海外で高く評価された作品も手掛けた。「一番大切にしているのは映像と音楽が対等に「いる」と。泣くシーンを悲しい音で説明するのではなく「きちんと距離を取って、どれだけ映像に貢献できるかを絶えず考えています」。

「となりのトトロ」など宮崎監督の作品には欠かせぬ存在。親しみやすいメロディが子どもから大人まで広く愛されている。「これまでどころはよくやった。これから頑張れよ」という励ましの褒章だと思っています。顔をほころばせながらも「道半ば」と何度も口にした。

ゲーム大手、始者で、人気、リンクエストラ

人気

ドラクエ開発 福嶋



江戸時代か級の磁器「色紙」背負う14代目なく、伝統のもの」と紫綬け止めた。10で待望の男児喜びに包まれ、父親の背中「手作りの温

色紙

有田焼

今泉今太